科目名	総合課題探求Ⅱ（応用） Comprehensive practicum c (advanced)	担当教員 (研究室番号)	大川 明子 安部 彰 上田 貴子 大平 肇子 小池 敦 佐藤 可奈 ドライデン いづみ 前田 貴彦 森下 直紀	教員への連絡方法 (メールアドレス)
-----	--	-----------------	---	-----------------------

履修年次	4年後期	科目区分	総合科目	選択区分	必修	単位数(時間)	1 (15)	授業形態	演習	科目等履修生	否
										オープンクラス	否

科目目的 臨床場面における倫理問題について、看護師として問題意識をもち倫理的に判断し、行動するための基礎的能力を養う。また異学年（2年生と4年生）とが交流し、ディスカッションすることで共同探求力を深める。

ディプロマ・ポリシー(DP)	主要なDP	A 人々の生命・尊厳・権利を尊重し、看護専門職者としての倫理観に基づいて行動することができる。（姿勢・態度）
	関連するDP	B 人々の生活に根ざした看護を実践するための幅広い教養と専門的知識を有している。（知識・理解）
		G 看護学に対する研究的視点を持ち、主体的に学ぶ姿勢を有している。（関心・意欲）

到達目標
1. 事例（状況）に埋めこまれた倫理的課題に気づくことができる。
2. グループメンバーと共同して倫理的課題を探求する姿勢が身についている。
3. 探求のプロセスとその成果を明快に伝えることができる。

成績評価方法(基準)
グループディスカッション20%
授業後のミニレポート(2-6回 計5回分) 20% 最終レポート20%
グループ発表 40%

再試験の有無と基準等
なし

教科書
なし

参考書等
授業時に適宜紹介する。

学生の主体性を伸ばすための教育方法と学生への期待
医療・ケアとそれをとりまく環境の複雑化を背景に今日では「多様な意見・信念をもつ他者と共同しつづ問題を探求する力」が医療者にはますます求められている。本授業では、ピア・エデュケーション（受講生間での主体的・相互的な学び）を基調とした倫理的課題の共同探求をつうじて、その力を養ってほしい。そのために探求において重視してほしいのはグループメンバー間での対話だ。対話をつうじて各自の意見（信念）の相互吟味を深めれば深めるほど、その探求はダイナミックに進展していくだろう。

備考

回	学習項目	学習内容	主担当教員	授業方法
1回	イントロダクション	授業の目的等をちゃんと理解・共有する。	安部 他5名	講義
2回	事例における倫理的課題の検討1	事例の現象や登場人物の状況を理解する。	大川 他5名	演習
3回	事例における倫理的課題の検討2	事例の探求（知識の獲得）	大川 他5名	演習
4回	事例における倫理的課題の検討3	事例の探求（意見交換）	大川 他5名	演習
5回	事例における倫理的課題の検討4	事例の探求（まとめ）	大川 他5名	演習
6, 7, 8回	検討内容の発表	各グループごとに検討した内容を発表する。	大川 他5名	演習

学 習 課 題

実務経験を活かした教育の取組